舎の体制は変わらない。全体で60人前後の応援職員で対応する。

■国民健康保険特別会計補正予算

事業勘定

補正額　5億2千820万7千円
総　額　79億711万6千円

直診勘定

補正額　403万円
総　額　1億6千254万1千円

■後期高齢者医療特別会計補正予算

補正額　40万円
総　額　6億3千451万円

■介護保険特別会計補正予算

保険事業勘定

補正額　△52万6千円
総　額　37億3千665万3千円

サービス事業勘定

補正額　△21万6千円
総　額　3千411万8千円

■農業集落排水事業等特別会計補正予算

補正額　△60万5千円
総　額　8億9千824万円

■公共下水道事業特別会計補正予算

補正額　448万6千円
総　額　12億5千945万7千円

推薦

■人権擁護委員候補者

横井二美代（よこいふみよ）氏（山路町）を適任としました。

討論

子ども医療費無料化の拡充を求める請願について

反対討論

子育て支援対策として理解しているが、福祉政策は、公平性、平等性が求められる。国の政策として全国一律に実施されるべき。地域間格差が地域間の政策競争を生み、自治体の財政力、自治体ごとの独自性をも壊していく。

請願項目2の国政での実施を要求する意見書の提出には賛成。第1項目の市での実施は、自主財源の確保の見通しもつかない現状、合併10年後の財政力を考え反対。

賛成討論

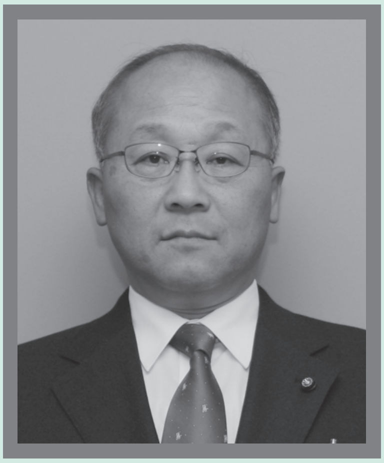
中学校卒業までの無料化を行う自治体は、来年度には54自治体中43自治体となる。

子供の医療費の軽減を進めることは、競争だという認識はおかしい。愛西市でも少子化が進み、都市近郊でありながら人口減少がある。

景気低迷によって厳しい生活を余儀なくされている子育て世帯の応援対策。

本来、他市に先駆けて福祉・暮らしを進めるべき。

ごめい福をお祈りします



故　永井千年さん

永井千年議員が平成23年12月24日に急逝されました。

永井議員は、平成7年4月に旧立田村議会議員に初当選以来、16年8か月の間に数々の要職に就かれました。

去年には経済建設委員会委員、議会運営委員会委員、海部南部水道企業団議会議員として活躍中でした。

故人のごめい福をお祈りします。